



# 岩船米づくり情報 No.2

平成28年3月  
岩船米技術者会議  
村上農業普及指導センター

## 土づくり・健苗育成で気象変動に負けない「岩船米」を!



岩越フネ

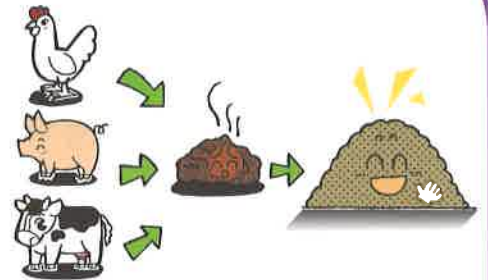
○今年もいよいよ米づくりが始まります。昨年は2年連続の強風被害や登熟期間の低温と日照不足により、満足のいく結果を残せませんでした。  
○おいしい岩船米の「全量1等」を目標に、土づくりや育苗などの春作業を的確に実施しましょう。

### 1 何より大事な土づくり～「稲は地力でとれ」「土一寸米一石」～

#### ◇異常気象に対応できる「土づくり」

##### ①土づくり肥料・堆肥を積極的に施用しましょう!

○JA等の土壌診断結果「土づくりの手引き」に基づき、地力の低いほ場では、堆肥等の有機物の施用を行い、ケイ酸やリン酸、鉄が少ないほ場では、必要な資材を必要な量施用しましょう。



##### ②作土層15cmを目標に、深耕を心がけましょう!

○根の多くは作土層に存在し、作土層が浅くなると根域が狭くなるため、養分や水分の吸収力が弱くなり、気象変動の影響を受けやすくなってしまいます。  
○15cmの作土層確保を目標に、深耕を心がけましょう。  
○耕うんをゆっくり丁寧にすることで、深めに耕すことができます。  
○できるだけ田んぼを乾かしてから耕うんしましょう。



#### ◇春の堆肥・鶏ふん施用は基肥チッソの減量を!

○堆肥や鶏ふんに含まれるチッソ成分は、秋施用の場合は有機物の分解に利用されますが、春施用の場合は一定程度緩効性のチッソ肥料として効くので、過剰生育による倒伏を防止するため、基肥チッソの減量を行いましょう。  
○堆肥や鶏ふんに含まれるリン酸とカリ成分は、80～90%の高い肥効率があるので、基肥からのリン酸及びカリ成分の減量が可能です。

堆肥・鶏ふんの成分含有率（現物当たり）

種類	チッソ	リン酸	カリ
牛ふん堆肥	0.7～2.0%	0.8～2.2%	0.9～2.5%
豚ふん堆肥	1.7～2.7%	2.7～4.6%	1.1～1.7%
鶏ふん	3.4～3.9%	5.4～6.2%	3.1～3.6%

※「新潟県における土づくりのすすめ方」より



岩越いぶき

## 2 うるち品種は温湯消毒、もち品種と新潟次郎は薬剤消毒を行います

○もち品種（こがねもち、わたぼうし）は、温湯消毒をうるち品種と同じ条件（60℃10 分間）で行うことができない（発芽率が低下する）ため、殺菌効果が劣ります。

○このため、もち品種と新潟次郎は温湯消毒を行わないで、薬剤による種子消毒を行います。

### 《種初めの保管上の注意点》

○種初めが変質しないように、風通しの良い場所で、積み重ねないようにして保管しましょう。

○病原菌との接触を避けるため、稲わら・籾殻・土に直接触れないようにしましょう。

○消毒済み種子カードは、大切に保管してください。

品種と袋・口ひもの色一覧

	品種名	袋の色	口ひもの色
うるち米	コシヒカリ	青	黒
	こしいぶき	黄	黒
酒 米	五百万石	白	黒
	たかね錦	緑	黒
	越淡麗	白	白
もち米	こがねもち	赤	黒
	わたぼうし	グレー	黒
飼料用米	新潟次郎	オレンジ	黒

## 3 育苗準備・種子予措 いちたね にこえ さんつく ～「一種二肥三作り」～

### ◇床土準備から播種まで

#### 床土準備

- ・病害の発生の危険が少ない、専用の育苗用土（床土・覆土）を使用しましょう。
- ・細菌性病害対策を必ず行いましょう。

#### 浸 種

- ・浸種水温は開始時から 10～15℃を確保（特に初日の温度）し、積算温度 100℃を目安としてください。
- ・浸種始めから 2～3 日に 1 回必ず水を交換してください。

#### 催 芽

- ・催芽温度は 30℃に設定してください。
- ・30℃を超える高温では、もみ枯細菌病、褐条病等の発生の危険が高まるので、温度を上げすぎないように注意してください。

#### 播 種

- ・適期田植に合わせて、コシヒカリは 4 月 20 日以降に、その他品種は 4 月 15 日以降に播種しましょう。
- ・播種量は乾籾で 130～140 g/箱（催芽籾で 160～175 g/箱）程度の薄まきとしてください。

### ◇ばか苗病を予防しましょう

#### 《ばか苗病予防の5つのポイント》

- ① 前年の籾殻・わらは育苗施設周辺から除去してください。
- ② 種子は清潔なところで管理してください。
- ③ 塩水選を行って、感染籾を除去してください（特に自家採種の場合）。
- ④ 催芽は適温（30℃）で行ってください。
- ⑤ 温湯消毒に加えて、生物農薬を使用することで、防除効果が上がります。

岩越ひかり





# 4 健苗育成のための育苗管理のポイント～「苗代半作」～

出芽期 (加温: 4/24～26頃) (無加温: 4/20～26頃)		緑化期 (4/26頃～)	硬化期 (4/29頃～)			
期間	加温出芽	2～4日	12～13日			
	無加温出芽					
温度	30℃ 30℃を超えない	昼: 20～25℃ 夜: 15～20℃ 苗ヤケに注意	昼: 15～20℃ 夜: 10～15℃ 日中の高温に注意			
	被覆等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラブシートのみ</li> <li>低温時は二重被覆</li> <li>第1葉が展開したら硬化に移る</li> </ul>	<b>慣行育苗</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>無被覆 (低温時はラブシートで被覆)</li> <li>外気に慣らし、硬化を徹底</li> <li>田植え 1週間前から夜間もハウス側面を開放</li> </ul>	<b>プール育苗</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>硬化開始と同時に入水し、無被覆でハウス側面は夜間も開放 (霜注意報など低温が予想されるときのみ閉める)</li> </ul>		
水管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>播種時に十分かん水する</li> <li>覆土の持ち上がりが見られたら、さっとかん水して緑化に移す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土が乾いている場合は、遅くとも午前 10 時までにかん水</li> <li>過湿に注意</li> </ul>	<b>慣行育苗</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>前半は 1日 1回午前中にかん水</li> <li>後半は 1日 1～2回十分にかん水 (夕方のかん水は厳禁)</li> </ul>	<b>プール育苗</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>硬化開始と同時に入水する</li> <li>減水に応じて 2～3 回足し水する</li> </ul>		
			生育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>出芽終了時の出芽長は 0.5～1 cm とする (コシヒカリ 0.5 cm、こしいぶき など苗丈が短い品種は 1 cm)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑化終了のめやすは、第1葉鞘長 3 cm で第1葉が完全展開したとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬化終了時</li> </ul>
その他	<p>晴れた日は、ハウス内の高温に注意!</p> <p><b>出芽終了時</b></p> <p>根数1本</p> <p>岩越まい</p> <p>ラブシート+シルバーポリウ#80の二重被覆</p> <p>有孔ポリなど</p>	<p><b>緑化終了時</b></p> <p>5cm</p> <p>3cm 以内</p> <p>0.7cm</p>	<p><b>硬化終了時</b></p> <p>12cm</p> <p>第2葉</p> <p>第1葉</p> <p>不完全葉</p> <p>3.5～4cm</p> <p>鞘葉</p> <p>冠根</p> <p>種子根</p>	<p>【晴天時苗ヤケに注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直射日光の強い日は十分に換気し、苗ヤケの発生を防止する</li> <li>ハウスのビニールが新しい場合など高温になりやすい場合は、寒冷紗等で高温対策を行う</li> </ul>	<p>【ムレ苗の防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温度の急変 (8℃以下、35℃以上) でムレ苗が発生しやすくなるので注意する</li> <li>特に小さいハウスは温度変化が大きい</li> </ul>	<p>【田植え 4～5 日前に弁当肥】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>箱当たりチッソ成分で 1～2 g の追肥で苗の活力を高める</li> <li>徒長苗には施用しない</li> </ul>

※表中の日付はコシヒカリを 5月 10日に移植する場合の目安です。

※プール育苗はかん水作業が容易になるほか、苗立枯病等の発生を抑制することができます。

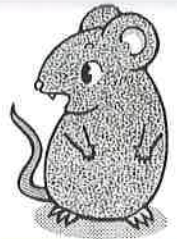
## いもち病常発地では、必ず育苗箱施用剤を使用してください

- ・コシヒカリBL以外の品種は、箱施用剤を使用して、予防的な防除を行きましょう。
- ・いもち病の常発地では、コシヒカリBLでも箱施用剤を使用して、予防的に葉いもち防除を行ってください。

## 5 本田の準備は万全に！ ～「精農は土をつくる」～

### ① 施肥・耕うん前にほ場を十分に乾かしましょう！

- ・消雪後早めに水田の見回りをを行い、点検補修（融雪水の排水、モグラ（ネズミ）穴、漏水箇所等の補修、農道・水路の補修など）に努めましょう。
- ・春分の日をめやすに暗渠栓を開け、ほ場の乾燥を促進して乾土効果の向上を図りましょう。



### ② 土壌診断結果に基づいて土づくりを行いましょ！

土づくり資材と施用量のめやす

分類	資材名	標準施用量(kg/10a)
ケイ酸混合肥料	すくすく岩船米ソイル元気	60
	ソイルキーパー	40
リン酸肥料	ようりん(粒)	40～60
	ダブリン特17号	20～40
ケイ酸肥料	ケイカル	120～200
	けい酸加里プレミア34	20～40
	スーパーシリカプレミアム	20～40
含鉄資材	ソイルキーパーFe	100～200
	マン鉄ソイル	100～160
	農力アップ	60～100

- ・JAを通じて配布された「土づくりの手引き」を参考に、堆肥や土づくり資材を活用し、土づくりを積極的に行いましょう。

土づくりが最も重要！



岩越 岩

### ③ 地力に合わせた基肥チッソ量の施用で倒伏を防止しましょう！

地力による基肥施肥量のめやす

分類	施肥体系	肥料名	施用量(kg/10a)	基肥チッソ量(kg/10a)
標準地力地域	基肥+穂肥	すくすく岩船米有機コシヒカリ	30	3.0
	基肥一発	すくすく岩船米有機一発	30～35	2.7～3.2
低地力地域	基肥+穂肥	すくすく岩船米有機コシヒカリ	40	4.0
	基肥一発	すくすく岩船米有機一発	40	3.6

- ・地力が高く、毎年倒伏してしまうほ場では、基肥チッソ量を更に減らしましょう。
- ・基肥一発肥料は、基肥チッソ成分を考慮して、施用量を決めてください。

地域一丸となった取組で、全量1等米を目指しましょう！

～お問合せは、お近くのJAまたは普及指導センターへ～